

漁業・養殖業生産額

平成 24 年の漁業生産額は前年並みの 1 兆 4, 165 億円となった。

これは、海面漁業・養殖業が 1 兆 3, 276 億円で前年並みだったものの、内水面漁業・養殖業が 889 億円で前年に比べ 3.0 % 減少したことによる。

表 漁業生産額

区 分	平成23年 100万円	24		対前年 増減率 %
		実数 100万円	構成比 %	
漁業生産額計	1, 419, 052	1, 416, 499	100. 0	△ 0. 2
海面漁業・養殖業	1, 327, 357	1, 327, 585	93. 7	0. 0
海面漁業	939, 952	914, 406	64. 6	△ 2. 7
海面養殖業	387, 405	413, 179	29. 2	6. 7
内水面漁業・養殖業	91, 695	88, 913	6. 3	△ 3. 0
内水面漁業	20, 112	17, 871	1. 3	△ 11. 1
内水面養殖業	71, 583	71, 042	5. 0	△ 0. 8

(1) 海面漁業

海面漁業の生産額は 9, 144 億円で、前年に比べ 2. 7 % 減少した。

ア 生産額が減少した主な魚種

(ア) するめいか

生産額は 392 億円で、価格が上昇したものの、漁獲量は減少したことから前年に比べ 28. 7 % 減少した。

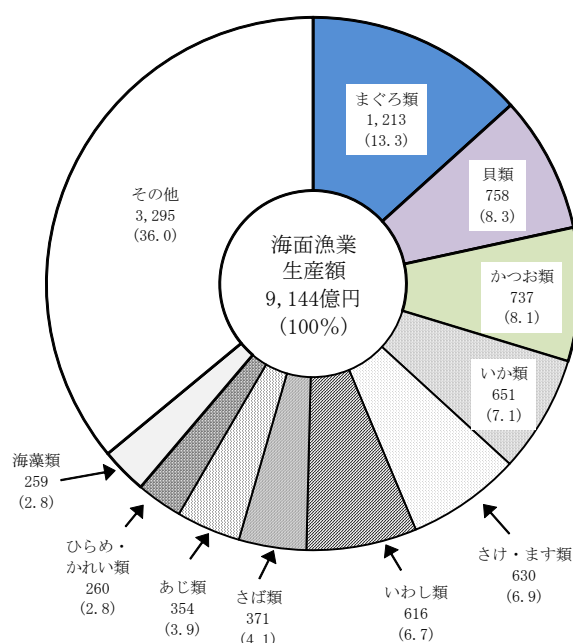
(イ) さけ類

生産額は 608 億円で、漁獲量が減少したことに加え、価格も低下したことから前年に比べ 9. 3 % 減少した。

(ウ) さんま

生産額は 171 億円で、漁獲量が増加したものの、価格は低下したことから前年に比べ 26. 2 % 減少した。

図 1 海面漁業の魚種別生産額及び構成比



イ 生産額が増加した主な魚種

(ア) しらす

生産額は 325 億円で、漁獲量が増加したことに加え、価格も上昇したことから前年に比べ 57.5 % 増加した。

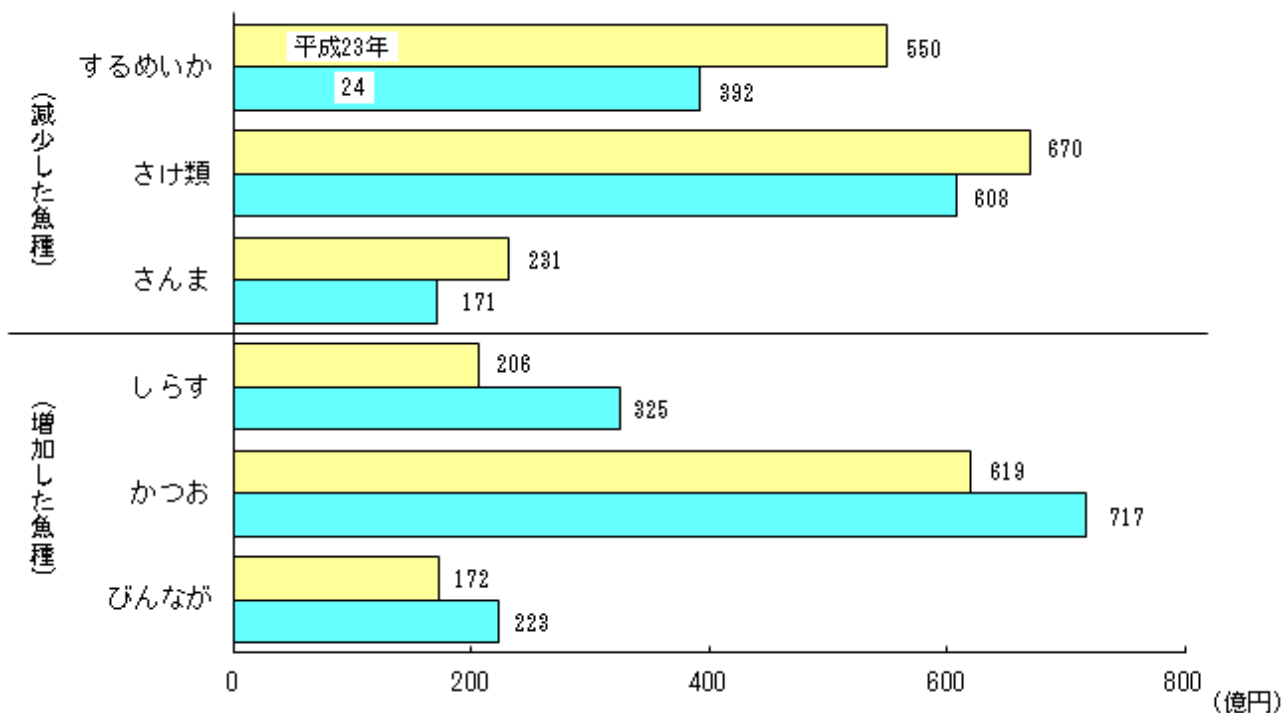
(イ) かつお

生産額は 717 億円で、漁獲量が増加したことに加え、価格も上昇したことから前年に比べ 15.8 % 増加した。

(ウ) びんなが

生産額は 223 億円で、漁獲量が増加したことに加え、価格も上昇したことから前年に比べ 29.7 % 増加した。

図2 海面漁業の主要魚種別生産額



(2) 海面養殖業

海面養殖業の生産額は4,132億円で、前年に比べ6.7%増加した。

(主な魚種)

ア のり類

生産額は945億円で、収穫量が増加したことに加え、価格も上昇したことから前年に比べ32.9%増加した。

イ わかめ類

生産額は97億円で、収穫量が増加したことに加え、価格も上昇したことから前年に比べ233.8%増加した。

ウ ぎんざけ

生産額は26億円で、価格が低下したものの、東日本大震災により大幅に減少した前年から収穫量が回復したため、前年に比べ5,615.6%と大幅に増加した。

図3 海面養殖業の魚種別生産額及び構成比

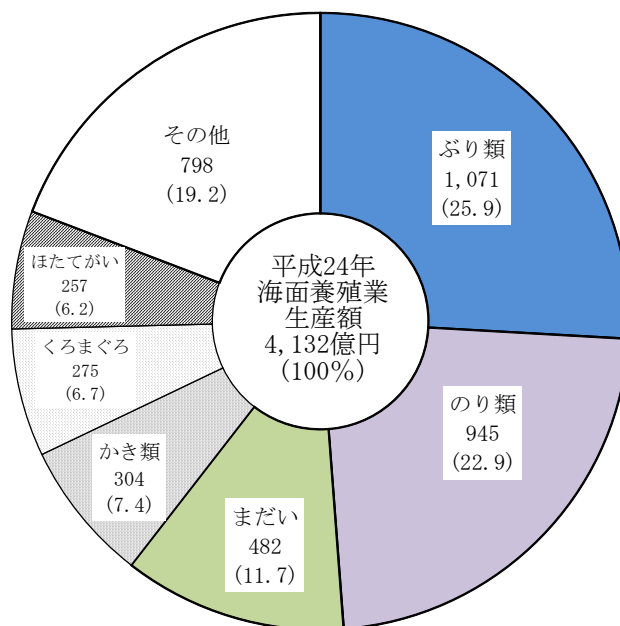
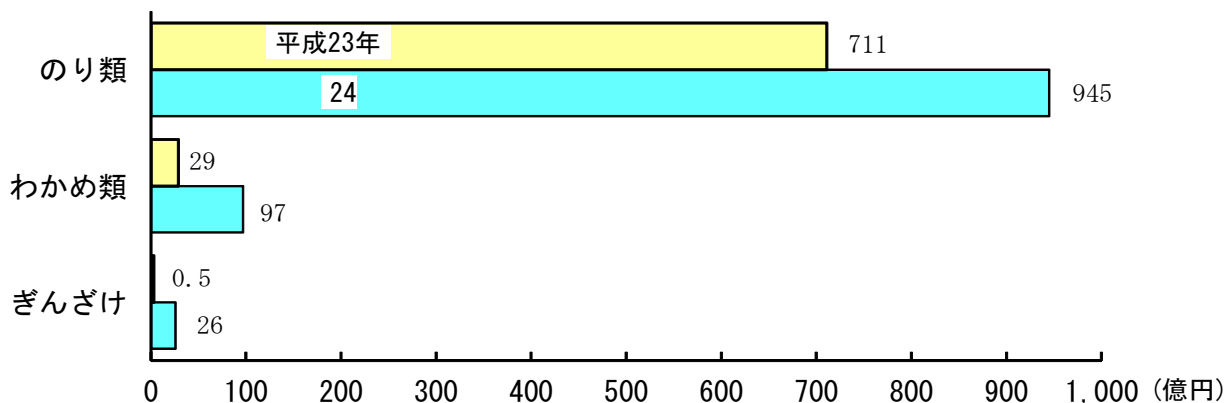


図4 海面養殖業の主要魚種別生産額



(3) 内水面漁業・養殖業

内水面漁業・養殖業の生産額は889億円となり、前年に比べ3.0%減少した。

ア 内水面漁業の生産額は179億円で、前年に比べ11.1%減少した。

(主な魚種)

(ア) あゆ

生産額は61億円で、価格が上昇したものの、漁獲量は減少したことから前年に比べ17.1%減少した。

(イ) しじみ

生産額が50億円で、価格が上昇したものの、漁獲量は減少したことから前年に比べ12.1%減少した。

イ 内水面養殖業の生産額は710億円で、前年に比べ0.8%減少した。

(主な魚種)

(ア) うなぎ

生産額は497億円で、価格が上昇したものの、収穫量は減少したことから前年に比べ1.1%減少した。

(イ) あゆ

生産額は77億円で、価格が上昇したものの、収穫量は減少したことから前年に比べ2.5%減少した。

図5 内水面漁業及び養殖業の主要魚種別生産額

